

*教員のICT活用指導力の向上に
関する文部科学省の取組*

(平成)

13年

14年

15年

16年

17年

18年

政府全体の
方針

e-Japan戦略

e-Japan戦略II

IT新改革戦略

ITを活用した指導の拡充のための指導者の養成を目的とした研修
(平成17年度まで)

(1)ICT利活用
促進キャン
ペーン
(平成17年度)

(2)e-教員プロジェクト
①教育情報共有化促進モデル事業 (平成15年度～18年度)
②「eラーニング型教員研修システムの開発・提供
(平成15年度～17年度)

(3)“IT授業”実践ナビ(平成15年度～)

(4)ICT活用重点促進
事業(平成18年度～)

(5)情報モラル等指導サポート事業
(平成17年度～)

「教員のICT活用指導力の向上」
に関する取組

教員養成課程にて
「情報機器の操作
(2単位)」を必修化
(平成10年6月)

(1) ICT利活用促進キャンペーン

～ICTを活用した模擬授業の実施～

ICTを活用した授業に対する理解促進を図るため、教育関係者等を対象とした模擬授業などを実施。キャンペーン冒頭で小坂・竹中両大臣のビデオメッセージを上映。

全国57箇所で開催、約5千名が参加

模擬授業



平成18年1月19日兵庫県大会

大臣ビデオメッセージ



小坂前文部科学大臣



竹中得前総務大臣

(2)①教育情報共有化促進モデル事業

- ・ 地域の教科研究団体を指定し、
授業での効果的なICT活用法の研究
授業で使えるコンテンツの開発などを実施
- ・ コンテンツ等の成果物とともに、コンテンツ開発のノウハウ、
コンテンツ活用のノウハウなどを、全国に普及



全国で、モデル事業を参考に、同様の取組が自発的に実施されることにより、教員の連携・情報共有を通じて、教科でのICT活用が定着・充実することがねらい



(2) ② e-learning型教員研修システムの開発・提供(ア) (e授業 授業でITを使ってみよう)

今まで授業でICTを全く使ったことのない教員のために、ICTを活用した授業の事例を示し、当該授業を行う上で必要となる準備や留意事項等のノウハウを学習することができる学習コースを提示するもの。 (<http://www.nicer.go.jp/eltt/>)

e授業 Web研修システム

授業でITを使ってみよう

初めてでもよくわかる！ビデオクリップ付き実践マニュアル。
機器の接続からソフトウェアの操作など、関連ITスキル解説も充実。

授業でITを使ってみよう

Top > Menu > デジタル写真でスピーチしよう: Step1 概要

小学校 国語
小学校 国語

小学校

国語
社会
算数

STEP1

概要

STEP2

授業準備

STEP3

授業の流れとポイント

STEP4

応用事例・参考コンテンツ



▲「授業全体の流れ」
・映像を見る (3分02秒)
[HIGH 高画質](#) [LOW 低画質](#)

■グループで行った見学についてデジタルカメラで撮影した写真を使って、意見発表や意見交流を行う授業です。

グループごとにデジタルカメラを用意し、「自分たちだけの発見」を撮影し、学校に戻ってから、それをもとに自分たちの発見や気付きや意見を発表します。

紹介する写真を選ぶときに、担任教師は、事前に写真を見ることで、グループの子どもに、発表内容を確認したりアドバイスをしたりすることもできます。

デジタル写真を使って見学の発表をすることで、子どもたち同士が、具体的に意見交換でき、新しい気付きや質問調査することなどを学習しやすくなります。

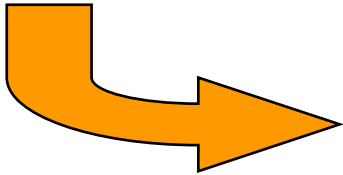
●●● 学習指導要領との対応 ●●●

第3学年及び第4学年
内容
A 話すこと・聞くこと
(1) 話すこと・聞くことの能力を育てるため、次の事項について指導する。
ア 伝えたい事を選び、自分の考えが分かるように筋道を立てて、相手や目的に応じた適切な言葉遣いで話すこと。
イ 話の中心に気を付けて聞き、自分の感想をまとめること。

〔言語事項〕
(1) 「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」及び「C読むこと」の指導を通して、次の事項について指導する。
ア 発音・発声に関する事項
(ア) その場の状況や目的に応じた適切な音量や速さで話すこと。

[▲このページの先頭へ](#)
[次へ](#)

※本サイト中で表記されている機器・ソフトウェアの商品名は例示であり、特に推奨するものではありません。



(2)②e-learning型教員研修システムの開発・提供(イ) (ICT@SCHOOL 先生のためのICTスキル研修)

ハードウェア及びソフトウェアに関連した基本的操作能力を、「基本操作」「ワープロ」「表計算」など12のカテゴリーに分け、それぞれについて具体的な項目があげられている。[\(http://www.nicer.go.jp/ictschool/\)](http://www.nicer.go.jp/ictschool/)

The screenshot shows the ICT@SCHOOL website interface. At the top, there is a logo and the text "先生のためのICTスキル研修" (ICT Skill Training for Teachers). Below this, there is a search bar for "学習コース検索" (Search Learning Course) with a search icon and a magnifying glass. A note below the search bar says: "検索したいキーワードを入力してください。スペースで区切るとAND検索になります。詳しくはHELPをご覧ください。(例: デジタルカメラ 画像)" (Please enter the keyword you want to search for. If you use spaces to separate them, AND search will be performed. For more details, please see HELP. (Example: Digital camera image)).

Below the search bar, there is a section titled "コンピュータ基本操作から選ぶ" (Choose from basic computer operations). It contains 12 icons representing different categories: 基本操作 (Basic operation), ワープロ (Word processing), 表計算 (Spreadsheet), プレゼンテーション (Presentation), 画像処理 (Image processing), ホームページ作成 (Home page creation), メール (Email), ネットワーク (Network), オンラインソフト (Online software), and 入出力 (Input/output).

At the bottom, there is a section titled "コンピュータ用語の解説" (Explanation of computer terms). It contains a text box with the instruction: "わからないコンピュータ用語を入力して[表示]ボタンを押してください。その用語の解説が表示されます。" (Please enter the computer term you don't understand and click the [Display] button. The explanation of that term will be displayed.) and a button labeled "関連用語の解説" (Explanation of related terms).

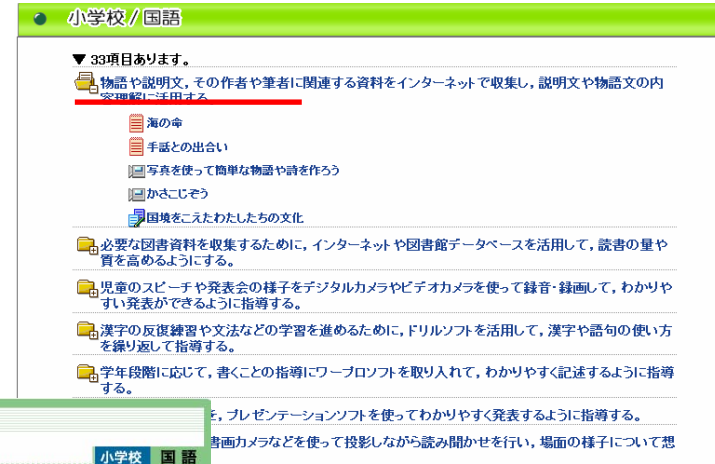
The screenshot shows a help page titled "共有プリンタを設定することができる。" (You can set up a shared printer.). The page is numbered "1 / 5" and has a "1. 概要" (1. Overview) section. The text in the overview section reads: "共有プリンタ(ネットワークプリンタ)を設定すると、ネットワークに接続されているどのコンピュータからでも、共有プリンタを利用して印刷できるようになります。ここでは、特定のパソコンに接続されているプリンタをネットワークで共有する方法について説明します。" (When you set up a shared printer (network printer), you can use the shared printer to print from any computer connected to the network. Here, we explain the method for sharing a printer connected to a specific PC on the network.)

Below the text, there is a diagram illustrating network sharing. A desktop computer is connected to a printer. A red line connects the computer to a central point, which then branches out to three other devices: two desktop computers and one laptop, all connected to the same network.

At the bottom, there is a section titled "手順" (Procedure) with a downward arrow icon. It contains two bullet points: "共有したいプリンタを表示する" (Display the printer you want to share) and "プリンタの共有を設定する" (Set up printer sharing).

(2) ② e-learning型教員研修システムの開発・提供(ウ) (ICTキュービックス)

e授業で登録された学習コースを更に増やし、教科を小中高共通、小学校、中学校、高等学校、中高共通のカテゴリーに分け、それぞれについて具体的な指導場面を掲載。(http://www.nicer.go.jp/ict3//)



(3) “IT授業”実践ナビ

各教科でICTを効果的に活用した授業風景を動画で見ることができるWebサイト

(<http://www.nicer.go.jp/itnavi/>)

文部科学省では、全ての教員がITを活用した授業を行うことができるように、さまざまな支援を行っています。このサイトでは、各教科におけるITを活用した効果的な指導の様子を、実際の授業風景の動画で見ることができます。『IT授業』コレは便利なよとしたコン「教員研修での利用のアイデア」などのページもぜひご利用ください。

IT授業を実践している先生にインタビュー

熊本大学教育学部附属小学校教諭・宮脇 真一
聞き手: 独立行政法人メディア教育開発センター研究開発部 調査・国際系助教 堀田 龍也



授業の見せ場!

デジタルコンテンツの活用

Web上には、このようなコンテンツがたくさんあります。特別なスキルがなくても簡単に使えるものばかりです。また、授業の中で使うのは、ポイントとなるわずかな時間です。普通教室で、まずは気軽に使ってみるといいと思います。

1. 授業の内容とIT活用の効果

堀田: “IT授業”実践ナビに掲載された授業について教えていただけますか。

宮脇: 小学校3年生の算数の「見やすくせいりしよう」という単元で、グラフとか表に示る前段階の、正の字を使っているんな資料を整理する授業です。

堀田: データの整理の仕方の入り口として、大人になってよく使うやり方ですね。そこでどういふふうにコンテンツを使おうと考えたのですか。

宮脇: 正の字を書くやり方は子どもたちも知っていますが、実際使うとなると難しい。そこで今回は動きのあるものを使って、自分なりの方法で整理の仕方を考える、そういう使い方をしています。

ICT授業を実践している先生へのインタビュー

活用場面で検索する

「教員」が活用している場面

- 課題提示に利用する
- 映像等で説明する
- 資料を提示して説明する
- 撮影して説明する
- 手順の説明に使う
- 学習ゲーム等を利用する

※ここに表示されている実践事例は、上から 小学校 中学校 高等学校 に並んでいます。

実際の授業風景を動画で提示

(4)ICT活用重点促進事業

○学校の基本的なICT環境が整備されつつある現状において、整備されてきた学校の環境をいかに活用できるか。

○コンピュータを使って教科指導等ができる教員を増やすことが重要。

現状

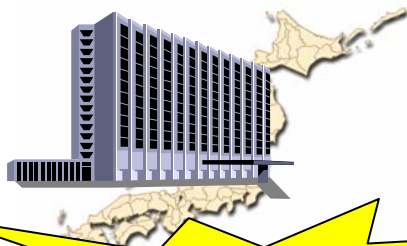
○コンピュータを使って教科指導等ができる教員 **76.8%**

都道府県格差97.7%~65.1%

ICT活用指導力養成の必要性

ICT活用指導力を向上させるべき都道府県を指定（9都道府県等）

指定地域



Eラーニング型研修システムの導入

eラーニングによる研修



教員への個別指導

指定地域の公立小中学校において、ICTを活用した指導を行うことができる教員の割合をおおむね全ての教員とする。

効果

概ね全ての児童生徒がICTを活用した効果的な授業を受けられる状況を醸成し、児童生徒の学力向上に対する関心を高める

(5) 情報モラル等指導サポート事業

児童生徒のICT活用における情報モラル等の指導の必要性は、近年特に高くなっている。

情報モラル等の効果的な指導手法について研究する。研究に当たっては、モデル校において、情報モラル等の指導を実践するとともに、全国の教員等を対象とした指導上の質問等に対応するヘルプデスクを開設し、指導上の問題点等を把握する。加えて、教員向け指導資料等の作成普及等を行う。また、指導主事等を対象とした情報モラル等の指導を普及するフォーラムを実施する。

